

インド土木学会国際セミナーで 東日本大震災の報告を行う

土木学会 ACEC 担当委員会 副委員長
山口 栄輝 (九州工業大学)

インド土木学会が主催する Engineers Day Celebration の一環として国際セミナーが企画され土木学会にも参加要請があった。

テーマは Approach to Sustainable Futuristic Infrastructure であり、土木学会で検討の末、将来の社会基盤施設を考えていく上での礎にすべく、今般の東日本大震災の報告を行うこととし、このテーマでの

表1 土木学会特別セッションプログラム

開催日 : 2011年9月15日 (水)
会場 : Siri Fort Auditorium, August Kranti Marg, New Delhi, India
特別セッションプログラム :
Special Session on 2011 Tohoku Earthquake, Japan
1. Overview of damage and influence on Japanese society Eiki Yamaguchi (Kyushu Institute of Technology)
2. Damage of the seawalls and soil liquefaction Kenichi Horikoshi (Taisei Corporation)
3. Characteristics of coastal damages due to the 2011 Tohoku Tsunami Shinji Sato (University of Tokyo)
4. Government actions for the recovery of national highways Masahiro Shirato (Ministry of Road Transport & Highways, Government of India)

特別セッションを提案した。幸いこの提案が全面的に認められ、セミナーの中で1時間が割り当てられた。ここではその参加報告を行う。なお、参加にあたっては、土木学会学術交流基金の助成を受けた。ここに記して感謝する次第である。

国際セミナーの開催日、開催場所、土木学会特別セッションプログラムは表1の通りである。

4 番目の講演者である白戸氏は、一昨年度まで(独)土木研究所に勤務されており、現在は JICA Expert of Policy Advisor on Expressway Development としてインド政府に勤務し、テリリーに在任されている。

写真1に示す通り、Siri Fort Auditorium はこの日の催しにふさわしいたいへん立派な施設であった。講演者には花束や記念品の贈呈があり、たいへん丁寧に扱われた。インドはもとより、ア



写真1 土木学会による特別セッション

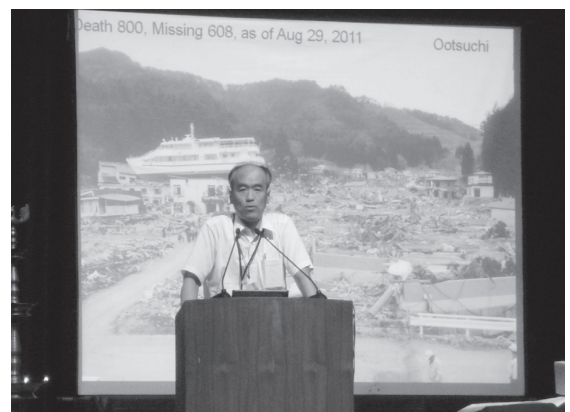


写真2 佐藤教授(東京大学)による講演

メリカ、台湾、フィリピン、モンゴルなどの、土木学会と協力協定を締結している学協会の参加者も多く見られた。インド土木学会は学位授与機構の役割も担っている。この日は学位授与のセレモニーもあり、ガウンを着た若人が会場内にたくさんいたのも印象的であった。

セミナーには総合司会者があり、特別セッション終了後、彼女が、It was a very interesting session, wasn't it? と言ってくれたのがたいへん印象に残っている。土木学会による特別セッションは成功裡に無事終了した。

特別セッションで座長を務めたのは C. Ghosh 教授で、茨城大学で学位を取得された方である。日本で学位取得と知った瞬間、発表者と座長の距離が一気に縮まるのを感じた。特別セッション終了直後の休憩時間で

も、和やかに話が弾んだ。日本の留学生受け入れの重要性をあらためて実感した次第である。

なお、国際セミナーに先立ち、白戸氏のアレンジで、インド政府道路交通・幹線道路省 (Ministry of Road Transport and Highways) 道路局を訪問する機会を得た。R.P. Indorai 道路局長 (Director General (RD) & Special Secretary) をはじめ、道路局幹部の方々を対象に、東日本大震災における道路関係の被害・復旧状況を中心に発表し、道路防災に係る意見交換を行った。また、堀越氏(土木学会 ACEC 対応委員会委員長・大成建設)より、土木学会が中心となって進めてきた設計基準に関する成果物が贈呈された。

種々の国際活動を行い、土木学会として、密度の濃い、たいへん意義深い1日となった。